

平成26年3月20日 はなえくぼひくみは2周年を迎えました。

「はなえくぼひくみ」は開設より二年が経ちました。2ユニット18人の認知症対応型共同生活介護事業所としてゆっくりと歩みを進めることができました。

管理者はじめ各担当者は、日々変化する生活模様へ一生懸命対応しています。そんな日々の中でも、利用者様一人ひとりに寄り添い、社会の一員としての誇りを持って生活して頂けるように、支え合って仕事をしています。

はなえくぼの株がしっかり根をはり、来年の三月にははなえくぼの花が満開となるよう尽力いたします。みなさまのご支援に心より感謝を申し上げます。今後とも温かく見守りください。



株式会社ニーノコーポレーション 代表取締役 二之湯つぎ子

より快適なホームにするために はなえくぼひくみ 管理者 大村 範子

人は皆プライドを持って生きています。はなえくぼひくみの利用者様も、ご家族も職員も同じです。認知症になったからといって特別な人になるわけではありません。感情やその人らしさは最期まで残っていることを忘れてはいけません。

認知症になったから何もわからないだろうと思って接していると、それは相手に伝わり、不愉快な感情を大きくさせ、その結果不穏・暴言・暴力などといった行動に表れることもあります。また、親しみを込めて友だち同士のような言葉づかいで冗談を言い合うことも必要かもしれませんが、常に「人生の大先輩だ」という敬意を示して接しなければいけません。

利用者様と話す時には次のことに気をつけてください。

- ゆっくり 落ち着いて 穏やかに 優しく
- 言葉づかいや口調、声のトーン、大きさに気をつける
- ジェスチャーなどもまじえてわかりやすく伝える
- 本人の気持ちをくみ取る（あせらせない、あわてさせない）
- 説得するのではなく納得してもらう
- 一度にたくさんを言わない
- 話す時、聞く時はじっくり顔を見ながらほどよい距離で
- 無視や無関心な態度で疎外感を持たせたり感じさせない
- さりげなく見守る（口を出さない、手を出さない、目を離さない）



音楽療法
「蛍の光」を合唱中



行事報告 はなえくぼひくみ2階介護職員 S・S

はなえくぼひくみは開設から2年が経過しました。全ての行事が2回目となるため、1回目より良いものにと知恵を絞り出し、行事のたびに奮闘しております。

3月の「ひな祭り」。昨年「お内裏様」「お雛様」のパネルを作りました。今年はその衣装に利用者様と一緒に色紙を切ったり貼ったり飾り付けをしました。当日は、そのパネルを使い「なりきり写真」撮影会。いつもよりおすまし顔に見えたのは私だけだったのでしょうか？

フロアにその写真を飾ると「やー私こんな顔で写とる」と照れくさそうにしていらっしやる利用者様など、反応はさまざま。普段見られない顔を見せてくださるのも行事ならではの良いところだと思っています。利用者様に楽しんで頂けるよう、また準備から参加して頂けるような形で2回目、3回目の行事を行って行けたらと思っています。

まもなく「お花見」の季節です。桜の下で満面の笑顔の利用者様の姿が目につかびます。どうか体調とお天気が良くなりますように。。。と願うばかりです。



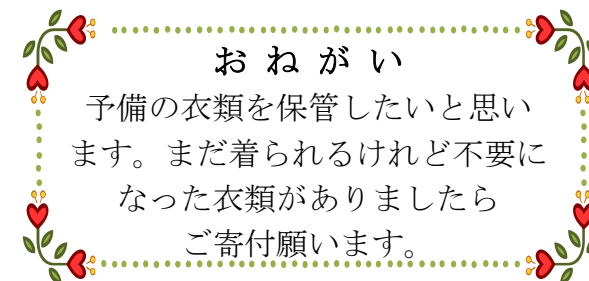
3.11に・・・ はなえくぼひくみ防火管理者 T・N

災害時認知症の方が避難生活を送ることになったらどうなるのか？と考えてみました。避難所での生活は認知症の人でなくても過酷であり、高齢者には身にこたえるものです。認知症の人は環境の変化に敏感で、ざわめきや雑音、人の出入りの多いところでは混乱しやすくなります。

誰もが被災者になった状況では、心身の余裕を失いパニックになることも少なくないでしょう。私たちは常に最悪の状況を想定し、災害時速やかな対応ができる体制整備や減災のための事前対策を講じなければいけません。特にはなえくぼひくみには自力避難が困難な方が生活してみえるので、普段から施設の災害適応力を高めておく必要性を強く感じました。



暖かくなったので畑仕事にも忙しい毎日です。



おねがい

予備の衣類を保管したいと思えます。まだ着られるけれど不要になった衣類がありましたらご寄付願います。



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小杵町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています